

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名		情報処理基礎			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員		江村 智史			単位数	2	実務授業		有		
対象学科		ITキャリアデザイン科3年制			単位時間数	39	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択		必修	対象学年	1	開講時期	前期	○				
授業概要、目的、授業の進め方		1. 情報活用試験3級の範囲(情報化に主体的に対応するための基礎的な知識)を学習する 2. 定期テストを通じて学生の理解度を測り、評価する									
学習目標 (到達目標)		情報活用試験3級のパソコンの操作、利用と役割、機能、および情報の利用、情報モラル、セキュリティなどに関わる基礎知識を理解する									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		改訂3版 J検情報活用3級完全対策公式テキスト、情報活用試験3級 公式テキスト									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考						
1	(1)ソフトウェア ソフトウェアとOS・OSS、ファイル管理、バックアップ				テキストP56～69、確認問題						
2	(2)ソフトウェア 表計算				テキストP70～87、確認問題						
3	(3)ソフトウェア ユーザインタフェース、マルチメディア				テキストP88～97、確認問題						
4	(1)セキュリティ 情報処理とマルウェア、サイバー攻撃、情報セキュリティ管理				テキストP158～181、確認問題						
5	(2)セキュリティ 利用者認証と生体認証、ネットワークセキュリティ				テキストP182～191、確認問題						
6	(3)セキュリティ 暗号化技術、デジタル署名				テキストP192～207、確認問題						
7	(1)アルゴリズムとプログラミング アルゴリズムとデータ構造、プログラム言語とマークアップ言語				テキストP244～256、確認問題						
8	(1)経営戦略とシステム戦略 企業活動と組織論、企業統治と内部統制、経営戦略手法、マーケティング戦略				テキストP304～331、確認問題						
9	(2)経営戦略とシステム戦略 技術戦略、業績評価と経営管理システム、ビジネスシステムとエンジニアリング、e-ビジネス				テキストP332～357、確認問題						
10	(3)経営戦略とシステム戦略 第4次産業革命と人工知能、IoTと組み込みシステム、情報システム戦略と業務プロセス、ソリューションビジネスとシステム活用促進				テキストP358～387、確認問題						
11	(1)マネジメント 企画・要件定義と調達、システム開発とソフトウェアの見積り、テスト手法と運用・保守				テキストP388～403、確認問題						
12	(2)マネジメント ソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント、行程管理				テキストP404～425、確認問題						
13	(3)マネジメント ITサービスマネジメント、システム監査				テキストP426～437、確認問題						
評価方法・成績評価基準					履修上の注意						
期末試験80%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準：A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階					特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：2年									

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	情報処理応用			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			単位数	2	実務授業		有		
対象学科	ITキャリアデザイン科3年制			単位時間数	42	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	1. 情報活用試験2級の範囲(情報社会の仕組みを理解するための基礎的な知識)を学習する 2. 定期テストを通じて学生の理解度を測り、評価する									
学習目標 (到達目標)	情報活用試験2級のコンピュータと各種機器の役割と機能、環境設定の基礎知識、ソフトウェアの種類と機能、インターネットおよび情報モラルと情報セキュリティなどの基礎知識を理解する									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	情報活用試験2級 公式テキスト									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	(1)情報の基礎 情報とは、コンピュータにおける情報の表現			テキストP9～P20の範囲を学習、過去問						
2	(1)情報の基礎 問題を解決するための方法、情報を処理するための手順			テキストP21～P31の範囲を学習、過去問						
3	(2)パソコンの基礎 コンピュータの種類と機能、周辺装置の種類と役割、インターフェース オペレーティングシステム、パソコンの利用と環境設定			テキストP32～P59の範囲を学習、過去問						
4	(3)ネットワーク インターネットとは、インターネットの接続、ローカルエリアネットワーク LANの構成要素、プロトコル			テキストP60～P70の範囲を学習、過去問						
5	(3)ネットワーク IPアドレス、サーバの種類、WWWの仕組みと利用 電子メール(Eメール)の仕組みと利用、HTML インターネットを利用したサービス			テキストP71～P89の範囲を学習、過去問						
6	(4)アプリケーションの利用と活用 表計算ソフトの使い方、データベース その他のアプリケーションソフト			テキストP90～P117の範囲を学習、過去問						
7	(5)情報モラルと情報セキュリティ 情報社会の特徴と問題点、知的財産権と著作権 情報モラルと法制度、情報セキュリティ			テキストP118～P138の範囲を学習、過去問						
8	(6)情報社会とコンピュータ コンピュータネットワーク技術の進歩 社会の中のコンピュータシステム 生活の変化、ビジネスシステムの変化、超スマート社会に向けて			テキストP139～P156の範囲を学習、過去問						
9	(6)情報社会とコンピュータ 企業の形態と企業活動、経営の進め方と戦略 プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント			テキストP157～P184の範囲を学習、過去問						
10	J検2級試験対策 令和2年度・令和3年度前後期の過去問を解く、苦手分野の復習			過去問演習						
11	J検2級試験対策 令和4年度・令和5年度前後期の過去問を解く、苦手分野の復習			過去問演習						
12	J検2級試験対策 令和6年度・令和7年度前後期の過去問を解く、苦手分野の復習			過去問演習						
13	期末試験 期末試験を実施(CBT方式でJ検2級を受験する)			CBT形式で受験						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
期末試験80%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準：A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階				特になし						
実務経験教員の経歴				システム開発従事:2年						

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名		ITパスポート応用			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員		江村 智史			単位数	2	実務授業		有		
対象学科		ITキャリアデザイン科3年制			単位時間数	42	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択		必修	対象学年	2	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方		1.ITパスポートの3分野(テクノロジー・ストラテジ・マネジメント)の応用的な内容を学習する 2.定期テストを通じて学生の理解度を測り、評価する									
学習目標 (到達目標)		ITパスポート出題範囲のハードウェア、システム構成、ネットワーク、データベース、企業活動と法務の内容を理解する									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		栢木先生のITパスポート教室									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考						
1	(1)ハードウェア 情報に関する理論、コンピュータの構成とPC				テキストP16～23、確認問題						
2	(2)ハードウェア 主記憶と補助記憶、半導体メモリ、入出力装置				テキストP24～39、確認問題						
3	(3)ハードウェア 入出力インタフェース、確率と統計、基数変換				テキストP40～55、確認問題						
4	(1)システム構成 コンピュータの処理形態と利用形態、システム構成				テキストP98～109、確認問題						
5	(2)システム構成 稼働率、システムの評価				テキストP110～121、確認問題						
6	(1)ネットワーク ネットワーク形式、無線LAN				テキストP122～131、確認問題						
7	(2)ネットワーク 通信プロトコル、インターネットの仕組み				テキストP132～143、確認問題						
8	(3)ネットワーク 通信サービス、Webページの検索・閲覧、電子メール				テキストP144～157、確認問題						
9	(1)データベース データベースとデータ操作、データベース設計、データの正規化				テキストP208～225、確認問題						
10	(2)データベース データの抽出と論理演算				テキストP226～243、確認問題						
11	(1)企業活動と法務 財務諸表、売上・利益とその他				テキストP256～273、確認問題						
12	(2)企業活動と法務 知的財産権、セキュリティ関連法規				テキストP274～287、確認問題						
13	(3)企業活動と法務 労働関連・取引関連法規、業務分析手法と標準化				テキストP288～303、確認問題						
14	期末試験				期末試験を実施						
評価方法・成績評価基準					履修上の注意						
期末試験80%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。					特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事:2年									

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	卒業制作				授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史				単位数	4	実務授業		有		
対象学科	ITキャリアデザイン科3年制				単位時間数	162	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	後期			○			
授業概要、目的、授業の進め方	在学中に習得した技能を駆使して、アプリケーション制作を個人、またはグループで行うことで、アプリケーション開発における総合的なスキルを修得します。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインタフェースなどのアプリケーション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、外部への情報公開とその評価までを行うと同時に、魅力あるプレゼンテーションの手法も学びます。										
学習目標 (到達目標)	オリジナルアプリケーションの完成										
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料										
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考						
1	テーマ選定・企画作成				教員作成資料						
2	企画プレゼンテーション				教員によるフィードバック						
3	α 版制作				学生個人PCでの作業						
4	中間プレゼンテーション				教員によるフィードバック						
5	β 版制作				学生個人PCでの作業						
6	中間プレゼンテーション				教員によるフィードバック						
7	完成版制作				学生個人PCでの作業						
8	最終プレゼンテーション				教員によるフィードバック						